

2006年を、企業家精神での公共部門改革と企業内創業の年に
—栃木県経済同友会はイノベーションの推進役に徹しよう—

株式会社開倫塾

代表取締役社長 林 明夫

1. 栃木県経済同友会の役割とは

- (1) 政治家ではないが、世界や日本、栃木県のあるべき姿を目指して、企業経営者として、自己責任で政策提言を行う「ビジネス・ステーツマン」（財界人）の集まりが、(社)栃木県経済同友会であると考ええる。
- (2) 栃木県経済を震撼させた、足利銀行一時国有化も、池田頭取の強烈なリーダーシップの下で、行員の血のにじむような努力と、栃木県経済同友会をはじめ、県民の強いサポートのお陰で、終焉に向かいつつある。
- (3) 今後は、「栃木県経済ゼロからの再出発」の気構えで、筆頭代表幹事の強力なリーダーシップのもと、全会員が心を1つにして、イノベーションの推進役を、(社)栃木県経済同友会は目指すべきと考ええる。

2. 公共部門改革は企業家精神でのイノベーションを

- (1) 問題意識の高い民間からのメンバーとの共同作業で、「事業仕

分け」を栃木県および市町村で徹底的に行えば、1兆円の県債も、膨大な市町村債も10年で半減できると確信する。

- (2) 外郭団体と呼ばれる、第3セクターも同様。
- (3) 既存利益をそのまま温存しつつある、指定管理者制度の「しくみづくり」も、企業家精神で、ゼロからやり直すべきだ。

3. 企業家精神で社内創業のためのイノベーションを

- (1) 世界的視野をもって、国際競争力のある新製品、新サービスを開発するために、すべての企業は、イノベーションに徹すべきだ。
- (2) そのためには、経営トップや幹部が世界的視野でものごとを見、考える能力を身につけることが不可欠。
- (3) 以上のような、「社会的使命(ミッション)」と企業家精神に満ちあふれた「志の高い」経営者が、切磋琢磨し励まし合う、栃木県経済同友会をつくり上げよう。